

# 大野一区 ニュース

## 赤崎集会所 の進捗状況

区長 野田 崇

(宮島口地域は昔、宮島から渡って出産されたことから、「赤ちゃんを産む対岸の崎」が地名「赤崎」の由来と伝えられています)

集会所正面(北側から見る)



建設中の赤崎集会所は、昨年9月25日から工事が始まり、今年1月末の完成・引渡しを予定し、昨年12月時点で90%の進捗状況です。既に、工事の足場が外され集会所の外観を見ることが出来ます。熱効率に優れた断熱材の使用や全ての窓を二重サッシにすることで、気密性・断熱性の高い集会所にしています。建設費は、昨年から木材が高騰した「ウッドショック」により、当初予定した2,600万円から2,800万円になりました。必要経費として、上水道使用経費・登記費用・エアコン設置費用・机、椅子などの備品費・その他に、約200万円計上しています。建設費用の内訳は、宝くじコミュニティ助成事業補助金1,500万円・廿日市市コミュニティ建設補助金820万円・1区負担金約680万円(積立金を使用します)の計約3,000万円です。これから完成までに残る工事は、内装工事・スロープ工事・水道本管からの連結工事・下水道工事・外構工事などで、令和4年

集会所を西側から見る



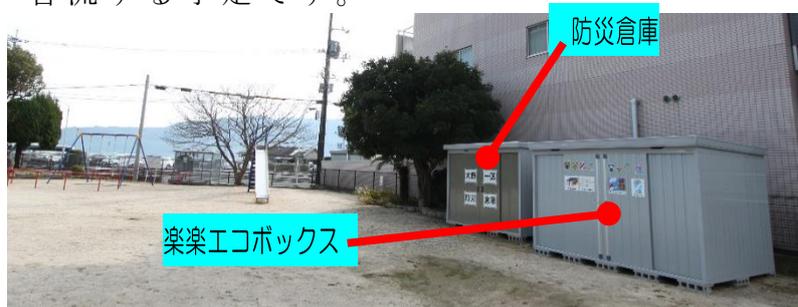
道工事・外構工事などで、令和4年

4月1日(金)から、利用出来ます。皆さんに有効に使って頂くことが、地域の活動力を向上させる施設になります。完成を楽しみにしています。4月利用開始を目標に、2月3日(木)から利用団体登録と利用希望日の受付を始めます。受付日は、毎週(月)(木)10:00~12:00・13:00~16:00。(月)が祭日の時は(火)。受付場所は大野東市民センター地域活動室。利用団体登録は、必ずしてください。利用団体会議を、2月19日(土)の18:00~大野東市民センターで行います。団体代表者は出席してください。

## 宮島口児童公園に 楽楽エコボックス を設置しました

区長 野田 崇

旧1区集会所は、耐震不足で昨年解体しました。宮島口地域では、10年程前から旧1区集会所を拠点に、資源回収が定期的に行われていました。旧1区集会所の解体により資源回収の拠点が無くなったため、楽楽エコボックスの設置を要望されました。設置場所は、旧1区集会所跡地で、その場所の利用を廿日市市に認めてもらうことが出来ました。宮島口児童公園の楽楽エコボックス運用は、当面宮島口地域に委ね、将来的には、楽楽エコボックス実行委員会と合流する予定です。



編集：総務部会

発行：大野第一区 区長

発行日：令和4年1月1日

通巻62号

# いきいき 100 歳体操で健康維持！体力測定と食の講座開催さる

福祉部会 中村 淳

昨年 11 月 24 日(水)に「みんなのサロン」で、同 12 月 3 日(金)は「トークサロン」で、市の福祉保健部、社協、理学・作業療法士、栄養士の方々にお越し頂き、体力測定、いきいき 100 歳体操の指導、食事の講座(=12 月 3 日のみ)が柿の浦集会所で行われました。今年もコロナ禍の影響で、いきいき 100 歳体操の中止が多く、体力の衰えを気にされていた皆さんも、ゲーム感覚の「片足立ち」や「椅子立上り」「タイムアップ&ゴー」などの体力測定を楽しそうに頑張っておられました。

最後に、「いつまでも自分らしく(自立で)」あるために「これから手帳- “わたしの想い”」(発行元：自立支援多職種ネットワーク推進会議)が参加者に贈られました。

健康な食事の講座



100 歳体操



体力測定



環境衛生部会「花ひろば」

昨年 11 月 7 日(日)恒例の冬春の花に植替え、対巖山通りに(通称バス通り)再設置しました。今回も評価の高いビオラと暖かくなると姿を見せるチューリップを植え付けていますので、春を楽しみに！



「これから手帳」の説明

いきいき 100 歳体操の指導では、正しい動かし方のツボや声出しで息苦しさが緩和される等教えて頂きました。また、食事の講座では、虚弱(フレイル)にならない為の食の話の分かり易く教えて頂きました。これからも健康でいきいきした生活を送れる様に、参加者の皆さんは決意を新たにされた様子でした。

バス通りに花樽設置



前日の準備(白やカマドの設置)



安芸戦士メープルカイザーの力強い餅つき



前日の準備(もち米の洗米)

丸めた形の平餅は、大阪より西に多く、四角い形のもの関東に多いそうです。こんな話を聞いてちょっと気になり始め、餅の起源を調べてみるかと、50年前の時代遅れの世界大百科事典を開いてみました。

は、年神様に捧げる丸くて大きな鏡餅、桃の節句には桜餅、端午の節句には柏餅というように年から年中、行事食として定着したそうで、お年玉のルーツもお餅から始まったそうです。

行事推進部会 三谷 昌一

天候に恵まれた暖かい日、大勢の区民が集まってくれました。どの位、子ども達が今日の日を楽しんでくれているだろうかと、数を追ってみたら108人までは数えられました。子ども達の打つ太鼓にはみんなが聞き入り、安芸戦士メープルカイザーとの餅つきは、餅が冷えちゃってあらかねになり、抽

## コロナ禍の餅つき大会

令和3年12月12日(日)



この後、子ども達も餅つきをしました

柿の浦太鼓の演奏



餅つきは、平安時代以前から行われていて、当時から稲作信仰があり稲からとれる米は、人々の生命力を強める神聖な食べ物で、米をついて固める餅や、米から醸造されるお酒は、とりわけ力が強いとされていました。餅つきは、祝い事や特別な日であるハレの日にするようになり、一人ではできないため、皆の連帯感を高め喜びを分かち合うという社会的意義もあったそうです。正月に

選会では当たって大喜びする子、当たらずにがっくりする子、そんな様子で令和3年度の餅つき大会も無事終わりました。一区民のコミュニティーは最高です。大勢のスタッフ皆さんの力に驚きました。縁の下の力持ち！これがないとイベントは成り立ちませんよネ。



イチゴの苗の無料配布  
花ひろば



ご当地ヒーロー「メープルカイザー」のショー

## 防災部会だより

防災部会 島 啓二

### 防災研修会（目からうろこの防災食）



昨年10月29日(金)

横浜市から防災アドバイザーの秦好子先生をお招きして女性会、防災部会、東市民センター共催での研修会を行いました。



松本市長の挨拶

大変お話の上手な方で、分かりやすい内容でした。乾燥野菜を毎日の暮らしの中に使っていると、それがいざという時の防災食になるといった話で、本当に目からウロコでした。プランタートイレの話もありましたが、これは少々ハードルが高のかなあ。コロナ禍での開催のため、人数を制限しなければならなかったのが残念でした。早く通常の暮らしに戻りたいですね。



野田区長の挨拶



昨年11月17日(水)

防災倉庫備品説明

大野東市民センターにおいて大野東小4年生の皆さんに、防災についての課外授業を行いました。スケジュールは防災倉庫見学、非常食作り、防災施設見学、防災授業の4本立てです。8時20分から早速授業開始。講師は野田区長です。まずは防災倉庫にある資材の紹介。講師から鋭い質問が飛んできます。「この中で最も重要な物はな〜んだ。3つ言ってみよう。」答えはバールのこぎり、ジャッキ。これがあれば倒れた家の中からなんとか人を助けられるそうです。ちょっと難しかったかなあ。非常食作りも防災施設見学も初めて経験する事や見る事ばかりで、みんな楽しそうにしていま



講師が面白かった防災授業

した。防災授業でも野田講師から出る質問に児童が答える形で授業が進みました。さすがに大野第一区の4年生です。手が次々と上がり、答えていましたよ。最後に出来上がった非常食の炊き込みご飯を食べて終了となりました。

課外授業を手伝って頂いた野田区長他役員の皆様、給食給水班の皆様、東市民センターの藤田さん、大変有難うございました。



市民センター備蓄倉庫の見学



非常食作り体験